

きゅうしゅう

NO.63



写真：史料館（提供：陸上自衛隊大村駐屯地）

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：陸上自衛隊 大村駐屯地
2. 自治体紹介：長崎県 東彼杵町
3. 業務紹介：調達部 建築課
4. インフォメーション：「米海軍佐世保基地独立記念行事」で広報活動ほか



防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



写真：生々躍動（提供：陸上自衛隊大村駐屯地）

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行 九州防衛局 総務部 福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎 TEL092-483-8811



1. 部隊紹介



陸上自衛隊大村駐屯地紹介

駐屯地司令挨拶



第16普通科連隊長 兼 大村駐屯地司令
1等陸佐 土肥 崇紀(どい たかのり)

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様こんにちは。陸上自衛隊第16普通科連隊長兼ねて大村駐屯地司令の土肥です。令和5年8月から大村で勤務を始めました。

大村駐屯地は今年で開設71周年を迎えました。その歴史は、昭和27年7月に旧陸軍歩兵第46聯隊跡地に第10普通科連隊が針尾から移駐したことから始まります。その後、昭和29年8月に第16普通科連隊が編成完結し、昭和49年3月に竹松駐屯地から第4施設大隊が大村に移駐して現在に至っています。

さて、大村に所在する部隊はこれまで多くの厳しい任務についてきました。昭和32年の諫早大水害、昭和57年の長崎大水害、そして平成3年に発生した雲仙普賢岳の大火碎流の発生に伴う災害派遣、平成23年に発生した東日本大震災の災害派遣などです。特に雲仙普賢岳における災害派遣は約4年6ヶ月の長期にわたる任務、これは自衛隊の災害派遣任務の最長記録です。最近では平成17年にイラクにおける人道復興支援活動をはじめ、東日本大震災災害派遣やジブチにおける海賊対処派遣など活動の範囲も長崎県内にとどまらず、国際社会にまで広がっております。

大村駐屯地一同は、活気に満ち、規律厳正な駐屯地を目標にしています。また、9月下旬には陸海空の部隊が大村駐屯地に集結して四部隊合同自衛隊記念日行事を開催します。多くの方々に大村駐屯地に来ていただき、また訪れたくなる駐屯地を目指していきます。皆様、大村駐屯地でお会いしましょう。

駐屯地紹介・沿革

～沿革～

明治30年	6月	大村駐屯地開設 旧陸軍・歩兵第46聯隊（熊本より移駐）
昭和12年	9月	留守歩兵第46聯隊を母体に歩兵第55聯隊編成
昭和14年	3月	歩兵第227聯隊編成
昭和16年10月		歩兵第146聯隊編成
昭和20年	8月	終戦
昭和21年12月		長崎師範学校が移転（昭和26年師範学校は自然廃校）
昭和24年	5月	長崎大学学芸学部が設置
昭和27年	6月	長崎大学学芸学部は大村市立西大村中学校へ一時移転
昭和27年	7月	第10普通科連隊が針尾から移駐
昭和29年	8月	第16普通科連隊編成完結
同	8月	第10普通科連隊が北海道（滝川へ移駐）
昭和49年	3月	第5陸曹教育隊（昭和38年8月から大村）が相浦へ移駐
		第4施設大隊が竹松駐屯地から移駐
平成15年	3月	第4後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊及び
		第4後方支援連隊第2整備大隊第1普通科連直接支援隊が編成
平成25年	3月	第4後方支援連隊第2整備大隊第1普通科連直接支援中隊に改編
～現在～		

大村駐屯地には、第16普通科連隊、第4施設大隊、第1普通科直接支援中隊施設整備隊、第363会計隊大村派遣隊、第321基地通信隊大村派遣隊、西部情報保全大村第一情報保全派遣隊、第134地区警務隊大村派遣隊、長崎地域援護センター、業務隊等の部隊が駐屯しています。



第4施設大隊



第16普通科連隊



第4後方支援連隊
第1整備大隊
施設整備隊



第4後方支援連隊
第2整備大隊
第1普通科直接支援中隊



第134地区警務隊
大村派遣隊



CAMP OMURA
GENERAL SERVICE UNIT



第321基地通信中隊
大村派遣隊



第363会計隊
大村派遣隊

主な駐屯地・地域行事等



令和4年度四部隊自衛隊合同記念日行事（令和4年10月）

大村市及び福江市に所在する陸・海・空四部隊合同自衛隊による自衛隊記念日行事を実施し、隊員の使命の自覚と士気の高揚を図るとともに地域住民に自衛隊の真の姿を紹介し自衛隊に対する理解と信頼感の醸成を図る。



航空機ヘリ体験搭乗（令和5年2月）

航空機ヘリ体験搭乗を実施し、駐屯地協力者、協賛企業、募集対象者に対し自衛隊に対する理解と信頼を醸成するとともに、募集効果の促進を図る。



ふれあいコンサート（令和5年3月）

ふれあいコンサートを実施し、自衛隊の真摯な姿を紹介するとともに地域住民との交流を深め親近感を醸成し、陸上自衛隊（大村駐屯地）の理解の促進を図る。



職場体験・生活体験（令和5年4月、7月）

長崎県内の高校生及び中学生の学生に対し、職場体験を実施するとともに、希望する企業の職員に対し、生活体験を実施し、陸上自衛隊（大村駐屯地）の理解の促進を図る。

2. 自治体紹介（長崎県東彼杵町）



町長あいさつ



東彼杵町長
岡田 伊一郎

ひがしそのぎ
東彼杵町は長崎県のほぼ中央に位置しており、面積の約60%を山林が占めているため、豊富な地下水が湧き出る、水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

そんな自然に恵まれた東彼杵町では、農産物の生産が盛んです。なかでも「そのぎ茶」は全国茶品評会において2017年から2022年の間に5回も農林水産大臣賞を受賞するなど、名実ともに選ばれるお茶として躍進を続けています。また、長崎自動車道「東そのぎIC」が町の中心部に位置し、福岡県まで約1時間30分と、アクセスの良さも魅力です。ぜひ、自然豊かな東彼杵町にお出かけください。皆様のお越しを心からお待ちしています。

基地とのかかわり



△大野原演習場

東彼杵町には約5.4km²の面積を有する、陸上自衛隊大野原演習場があります。大野原演習場は町の南東部に位置する標高400m～590mの丘陵地帯で、「大野原高原」として地域の方から親しまれている場所もあります。

本演習場は年間を通じて射撃訓練や爆破訓練が実施されています。演習場の運用管理では、周辺の6地区で構成する基地協力会と連携し、町民と自衛隊の皆さんとの良好な関係の中で、町民の防衛に関する理解の促進、防災に関する意識の高揚に努めています。

特別町民 & オフィシャルサポーター制度

「特別町民 & オフィシャルサポーター制度」は、町外に在住の方だけがなれる町民制度です。どちらも登録は無料で、特典をご用意しています！



特別町民

「ココロは東そのぎ」「そのぎ茶が好き♡」で、「東彼杵町のために何かしたい！」という方にオススメです。

～特典～

- サポーター特典に加えて・・・
- お茶とお便りが届く！
- 特別町民オリジナル名刺が届く！
- イベントに特別価格で参加できる！

オフィシャルサポーター

「東そのぎのことはまだよく知らない」でも「東そのぎ町に興味がある」という方にオススメです。

～特典～

- キャンペーンに参加できる！
- 芳名板に名前が載る！
- 東そのぎのメルマガが毎月届く！

詳しくは右上のQRコードからWEBへ！

東彼杵町のおすすめスポット

ちわた 千綿駅

レトロな駅舎とホームから一望できる大村湾の景色が人気の千綿駅。写真映えスポットとして、多くの観光客が訪れます。



やすらぎの里

東彼杵町の豊かな自然を満喫できる河川公園です。大型遊具もあり、子どもからお年寄りまで楽しめる人気のスポットです。



東彼杵町のふるさと納税

東彼杵町では、農産物を始めとした様々な特産品を返礼品としてご用意しています。東彼杵町の魅力をふるさと納税で気軽にお楽しみください。

～返礼品の一部をご紹介します～



△そのぎ茶



△不知火（しらぬい）



△そのぎ茶バター



3. 業務紹介

建築課

業務概要

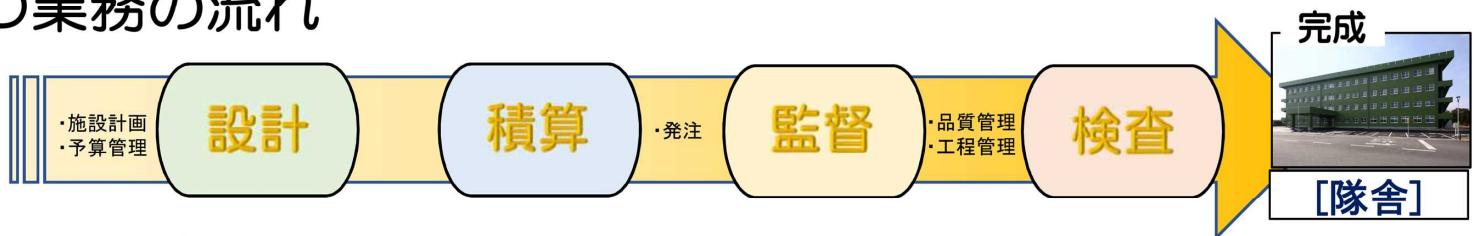
建築課では、九州北部4県（福岡・佐賀・長崎・大分）に位置するわが国の防衛に関わる特殊な施設（火薬庫、射場、管制塔、局舎、格納庫、シミュレータ、通信所、鉄塔等）をはじめ、学校（教場、体育館、プール、実験施設、講堂等）や病院、隊員が勤務する庁舎や生活支援施設（厚生施設、食堂厨房、浴場、宿舎等）など多種多様な建築物の設計・施工に携わっています。

特に、わが国の防衛に関わる特殊な施設は国防に直結するために、使用部隊のニーズを適切に反映した施設の整備が求められるとともに、生活支援施設は隊員がよりよい生活を送れるようきめ細かい設計・施工を必要とするため、課員は日々技術の研鑽に努めているところです。

特に近年はICT技術を生かした遠隔臨場や職員の勤務の効率化のためのテレワークを推進しております、職員の働き方改革にも力を入れています。

また、若手職員には、「知りたい！」を「知っている！」に変えるようOJTをしっかり実施するなど、「見て」「聞いて」「実践して」を取り組んでいます。

○業務の流れ



【OJT実施状況】



設計方針を踏まえた施工計画や現場の進捗状況を確認しています。

BIM等による細部の収まりを確認しています。



建物の出来高（寸法）をチェックしています。



扉開口寸法をチェックしています。



床下ピット内部をチェックしています。

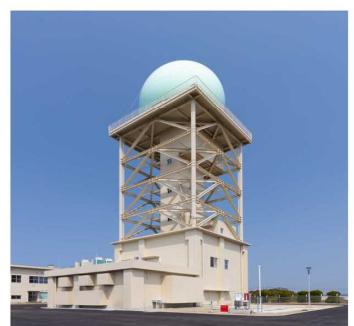
【最近の整備実績】



庁舎



格納庫



局舎

4. インフォメーション

江原 康雄 九州防衛局長着任のご挨拶

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、こんにちは。

令和5年7月14日付で九州防衛局長を拝命致しました江原康雄（えら やすお）と申します。

九州勤務は初めてとなります。幼稚園・小学校時代を熊本県で過ごしておりまして不思議な縁を感じています。

九州7県にわたる防衛行政に責任を有する長として、その重責に身の引き締まる思いです。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、政府は厳しい安全保障環境に対応するため、令和4年12月に、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の3文書を閣議決定いたしました。

今後、3文書に沿った施策や事業を円滑に推進していくためには、関係地方公共団体をはじめ国民の皆様のご理解とご協力を頂くことがますます重要となっています。

今後とも九州防衛局は、地域と防衛省・自衛隊の架け橋として、皆様により一層のご理解とご協力を頂けるよう全力で取り組んでまいります。



「米海軍佐世保基地独立記念行事」で広報活動



7月1日(土)、米海軍佐世保基地ニミッツパーク(長崎県佐世保市)において、「米海軍佐世保基地独立記念行事」が開催され、九州防衛局はエルモ佐世保支部とともに広報活動を行いました。



正解すると缶バッジがもらえる防衛白書クイズに、たくさんの子供達が挑戦しました。



ブルーインパルスのタペストリーの前では、多くの方々に写真撮影を楽しんでいただきました。

九州防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解いただけるよう、今後とも様々な機会をとらえ広報を実施していきますので、各種イベントにおける九州防衛局のブースにて皆様をお待ちしております。

詳しくは九州防衛局HPをご覧ください。→



九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。

在日米軍従業員募集



【X(旧Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報（エルモ）@LMO_recruit」

X(旧Twitter)



【窓口応募受付・お問い合わせ先】

エルモ佐世保支部管理課管理係

住 所: 〒857-0056 長崎県佐世保市平瀬町3-1

電 話: 0956-23-7191

担当施設: 佐世保海軍施設、横瀬貯油所、針尾住宅地区等

<https://www.lmo.go.jp>

LMO

検索

エルモホームページ



求人情報
本州・九州の基地

